

平成20年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

石川県教育委員会

はじめに

近年、高度情報化、少子高齢化、経済問題などを背景に、国民の意識や価値観、ライフスタイルが多様化しており、社会構造の変化のスピードも、これまでになく速くなっています。教育においても、家庭や地域社会の教育力の低下、児童生徒の規範意識や道徳心の低下、いじめ・不登校など、様々な課題に直面しています。

こうした中、国は、昨年7月に教育基本法に基づき、教育振興基本計画を新たに策定したところであります。同法では、地方公共団体に対しても国の計画を参酌し、教育の振興のための施策に関する基本的な計画の策定を求めていることから、本県においても新たな教育振興基本計画の策定に着手したところであります。策定にあたっては、学力向上教育改革推進会議などの議論も参考に、学校教育や生涯学習、スポーツの推進に加え、大学などの高等教育や私学教育をも含めた本県教育の総合的な指針となる計画にしたいと考えております。

県教育委員会では、このような動向を踏まえつつ、新長期構想に掲げる「未来を拓く心豊かな人づくり」を目指すとともに、平成20年度においては、本県教育の指針として策定した「石川の学校教育振興ビジョン」、「石川県生涯学習振興ビジョン」及び「石川のスポーツビジョン」が掲げる目標の実現に向け、「学校教育の充実」、「心の教育の充実」、「生涯学習の振興」、「文化財の保護」及び「スポーツの振興」を5つの柱として諸施策に積極的に取り組んだところであります。

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成20年度の教育委員会の取組について点検評価し、金沢大学学校教育学類田邊俊治教授と北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究調査センター竹内新也教授からご意見をいただき、まとめたものであります。

県教育委員会としては、点検・評価の実施を通じて施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えています。

平成21年9月

石川県教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

- 1 活力あふれる新しい石川の教育の創造…………… 1
- 2 確かな学力を育む教育の推進…………… 3
- 3 特別支援教育の充実…………… 6
- 4 教職員の研修の充実…………… 7
- 5 学校体育・健康教育の推進…………… 8
- 6 児童・生徒の安全確保対策の推進…………… 9
- 7 教育環境の整備充実…………… 10

施策2 心の教育の充実

- 1 いじめ・非行防止・不登校対策の充実…………… 11
- 2 家庭・地域の教育力の向上…………… 13
- 3 生きる力を育む教育の推進…………… 14

施策3 生涯学習の振興

- 生涯学習の振興…………… 15

施策4 文化財の保護

- 1 文化財の保存・活用…………… 17
- 2 埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用…………… 18

施策5 スポーツの振興

- 1 生涯スポーツの普及・振興…………… 19
- 2 競技スポーツの充実・強化…………… 19
- 3 スポーツ施設の整備充実…………… 20

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議…………… 21

- (2) 教育委員の主な活動…………… 23

施策1 学校教育の充実

ふるさと石川の文化や風土を生かしながら、一人一人に確かな学力と豊かな人間性をはぐくむとともに、発展的な学習を通して、個性や創造性を伸ばし、たくましい気概を持った、創造性あふれる児童生徒の育成を目指して、創意工夫する活力あふれる学校づくりを推進する。

1 活力あふれる新しい石川の教育の創造

平成20年度の主な取組

- ◆「いしかわ教育の日」の啓発推進（2,000千円）
 - ・教育の日記念大会の開催
日時 平成20年11月1日
場所 石川県文教会館
内容 記念式典（いしかわ教育功労者表彰等）、記念講演、児童による合唱
 - ・各教育事務所でのタウンミーティングの開催
日時 平成20年11月1日～7日の間
場所 県内4カ所
内容 学校、家庭、地域社会の代表者による意見交換等
 - ・学校における家庭・地域社会と一体となった事業展開
公開授業、意見交換会等の実施

- ◆学力向上教育改革推進会議の開催（2,650千円）
 - ・学力向上策や県立学校の活性化策等について専門的な検討・協議を実施
委員20人 開催回数2回
 - ・『石川の学校教育振興ビジョン』見直しの方向性」とりまとめ

- ◆「県立高等学校の活性化推進計画」の実施（一 千円）
 - ・飯田高等学校と輪島高等学校に本県で初めて普通科と総合学科を併置
 - ・七尾東雲高等学校に新設した演劇科に全国募集を導入
 - ・小松北高等学校に三部制を導入

- ◆副校長等の新たな職の設置（一 千円）
 - 小学校 10校、中学校 10校、高等学校 3校に副校長、主幹教諭、指導教諭を配置

- ◆石川の学校教育振興ビジョンの推進（33,854千円）
 - ・県立学校における教育・部活動活性化事業の推進
金沢西高等学校以下32校2分校
 - ・小・中学校におけるエネルギー教育の推進
金沢市、輪島市

評価

「いしかわ教育の日」については、標語・ポスター募集の応募が大幅に増えました。また、「いしかわ教育ウィーク」については、平成20年度も全ての県立学校及び市町立小中学校において、公開授業、学校公開、意見交換などの取組が実施されました。

学識経験者や経済界、保護者などを委員とする有識者会議である学力向上教育改革推進会議において、「『石川の学校教育振興ビジョン』の見直しの方向性」をとりまとめました。今後は、この報告書を踏まえ、具体的な議論を進めたいと考えています。

県立高等学校の再編整備については、今後も、「県立高等学校の活性化推進計画」に基づき、子どもたちに未来を切り拓くたくましい力を育むことができるよう、保護者や地域の方々と連携・協力し、活力ある高校を作り上げていきたいと考えています。

組織的・機動的な学校運営を行うため、副校長等の新たな職を設置したところ、職員の間でこれらの新しい職の目的を意識した行動が見られ、会議の効率化が図られる等の成果が見られました。学校運営の形として定着させ、教員が子どもと向き合う時間の拡充や教職員の意識改革につながるよう支援していきたいと考えています。

「石川の学校教育振興ビジョン」を具現化し、活力あふれる学校づくりを推進するため、各学校での工夫を凝らした教育活動や部活動を支援し、学校の活性化を図りました。11月に開催された「石川の学校教育振興ビジョン実践事例発表大会」では、「確かな学力の確立」、「伝統・文化の理解」、「キャリア教育の推進」等の優れた取組を紹介しました。

2 確かな学力を育む教育の推進

平成20年度の主な取組

- ◆小中学校における少人数学級等の実施（一 千円）
 - 小学校1・2年の35人を超える学級を対象に、担任と支援講師によるティーム・ティーチング指導と35人学級のいずれかを選択できる制度を実施するとともに、小学校3年以上の学年において習熟度別少人数授業を実施
- ◆小学校複式授業の解消（一 千円）
 - 進学を控えた6年生の授業や実験・調査活動を伴う教科などでの単式授業 20校
- ◆大学連携による教員の養成・資質向上（2,000千円）
 - ・教員養成カリキュラム等に関する研究を行う教授の配置 1人
 - ・大学教授によるゼミ形式の研修講座の開設 10講座
- ◆教員の授業力向上対策の推進（2,295千円）
 - ・熟練した指導法を身に付けた教員による若手教員への授業方法の伝授（小・中学校の各教科ごと 計15グループ）
 - ・活用力向上セミナーの開催等
 - ・生徒による授業評価の実施
全ての県立高等学校で実施
- ◆小・中学校における活用力向上対策の推進（5,731千円）
 - ・活用力向上モデル校に対する支援 38校（19市町の小中学校各1校）
 - ・活用力向上支援アドバイザーの派遣 小中学校60校
- ◆基礎的・基本的な知識・技能の定着のための補充学習の実施（1,600千円）
 - 退職教員等による小学校における放課後の補充授業や個別指導の実施 5市町
- ◆退職教員等外部人材を活用した指導の充実（81,533千円）
 - 小学校における専科教育の充実 25校、中学校の習熟度別少人数授業の充実 6校
- ◆地域の教育力を活用した小・中学校の学力向上対策の推進（883千円）
 - 退職教員や学生等の学習支援ボランティアを活用した授業の実施 2市町
- ◆小・中学生の基礎学力調査の実施（11,452千円）
 - 小学校4・6年生、中学校3年生
- ◆小学校における英語活動の推進（3,120千円）
 - 4市町の拠点校における実践研究
- ◆小学校における理科実験や観察などの体験的学習の推進（16,483千円）
 - 理科支援員等による小学校5・6年生の理科の授業の支援
- ◆児童生徒に対するキャリア教育の推進（476千円）
 - キャリア教育の視点を取り入れた授業の推進（モデル地域：七尾市）
産業界と連携した職場見学・職場体験の実施 など

- ◆高校生のインターンシップの推進 (2,436千円)
就業体験による職業観・勤労観の育成
大聖寺高等学校以下18校 1,100人
- ◆産業界のニーズに対応したものづくり人材の育成 (10,557千円)
生徒の課題解決型企業実習の実施、企業の熟練技能者の指導による実技講習等
大聖寺実業、小松工業、工業高等学校
- ◆地域と連携した実践的な商業教育の推進 (2,998千円)
小松商業高等学校における「ふるさと小松検定」の実施等
- ◆七尾東雲高等学校演劇科における特別授業の実施 (2,000千円)
無名塾の俳優や第一線で活躍する演出家等による講義、実技指導
- ◆学校評価システムの推進・充実 (5,288千円)
学校評価運営委員会の設置・運営、評価シートの作成等
研究推進校：小松商業、金沢二水、総合養護、
研究推進地域：小松市
- ◆外国人講師の招へい (223,994千円)
外国語指導助手44人
- ◆いしかわスーパーハイスクールの推進 (3,296千円)
大学教授等による講義、課題研究での指導など質の高い発展的学習活動等への支援
小松、金沢泉丘、金沢二水、金沢桜丘、七尾高等学校
- ◆石川県育英資金

対 象		貸与月額	人数	
		円	人	
大学	1～4年	44,000	297	
	5・6年	43,000		
高専	1～3年 国公立	自宅	18,000	37
		自宅外	23,000	
	私立	自宅	30,000	
		自宅外	35,000	
	4・5年	44,000		
高校 (通常枠)	1～4年 国公立	自宅	18,000	385
		自宅外	23,000	
	私立	自宅	30,000	
		自宅外	35,000	
高校 (再編枠)	1年	自宅	18,000	2
		自宅外	23,000	
		※希望者には12,000円を加算		
専修 (高等課程)	1～3年 国公立	自宅	18,000	1
		自宅外	23,000	
	私立	自宅	30,000	
		自宅外	35,000	
専修 (専門課程)	1～3年	44,000	32	

評価

小学校低学年の少人数学級や小学校3年以上の習熟度別少人数授業、複式学級での単式授業など、指導法の工夫・改善に関するニーズを踏まえて、教員の加配等を行いました。

また、経験豊かな指導力を持つ退職教員等を、非常勤講師として配置したことにより、きめ細かな指導が実施されたほか、若手教員のスキルアップにもつながりました。

今後とも、学校ごとの実情に応じた効果的な学習指導・生徒指導等が行われるよう、取り組んでいく必要があると考えています。

小中学校においては、基礎的な知識・技能に比べ、思考力・判断力・表現力等の「活用力」に課題が見られるという基礎学力調査や全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、モデル校の指定や大学教授等のアドバイザーの派遣など、活用力の育成に重点を置いた取組を進めてきました。

また、「熟練教師に学ぶ授業力向上事業」や「活用力向上セミナー」などの事業をとおして、教員の指導力の向上に取り組みました。

今後とも、児童生徒の活用力の育成をめざし、学力調査結果の専門的、多面的な分析・考察に基づく指導法の改善など、さらに充実した取組を継続する必要があると考えています。

高等学校においては、新たに学校関係者評価を導入し、客観的な学校評価を行い、その中で、生徒による授業評価の結果を踏まえた授業改善を進めました。また、外国語指導助手を活用した授業により、英語の実践的コミュニケーション能力の伸長が図られており、高校卒業時で英検2級以上の資格取得者数も356人と5年前に比べるとほぼ倍増しております。

さらに、いしかわスーパーハイスクール校では、全国高校化学グランプリ金賞や国際地学オリンピック銀賞など、各種の全国大会や国際大会で成果をあげております。

インターンシップや企業実習など、実際の知識や技能に触れる体験を通して、生徒の学習意欲を喚起するとともに、コミュニケーション能力や望ましい職業観・勤労観の育成を図っています。

今後は、これらの取組をさらに充実させ、生徒の確かな学力を育成するよう努めていきます。

3 特別支援教育の充実

平成20年度の主な取組

- ◆総合養護学校の全面開校（124,868千円）
H20年4月 知的障害部門開校
- ◆七尾養護学校輪島分校の開校（19,521千円）
H20年4月
- ◆新総合養護学校の整備（478,205千円）
実施設計、既存校舎改修・解体、肢体不自由棟増築
- ◆高等学校における発達障害のある生徒への支援（558千円）
専門家によるサポートチームの派遣等
- ◆障害のある生徒のインターンシップの促進（2,543千円）
職業観・勤労観の育成、職業的自立の推進
特別支援学校9校2分校
- ◆障害のある子の地域支援ネットワークの構築（1,821千円）
 - ・盲学校、ろう学校のサテライト教室の運営
 - ・個別の教育支援計画の策定等 特別支援学校10校4分校
- ◆特別支援教育の拠点化（1,779千円）
小・中学校等への専門相談員の派遣等
- ◆校舎の耐震化（11,561千円）
ろう学校の実施設計

評価

総合養護学校が平成20年4月に全面開校しました。引き続き、新総合養護学校の平成22年4月の開校をめざし整備を進めます。

小中学校においては、障害のある児童生徒について個別の支援シートの作成を進めました。また、専門相談員の派遣により、一人一人に応じた適切な指導を目指し、取組を進めました。今後は関係機関との連携を深め、さらに的確な指導・支援を進めていきます。

高等学校では、要請のあった15校に医師や臨床心理士を含めて編制した発達障害サポートチームを派遣し、発達障害についての理解と具体的な支援についての取組を進めました。

特別支援学校では、厳しい雇用状況の中、生徒一人一人の進路実現を図るため、作業学習の改善や職場実習の見直し等を継続して行ってきました。生徒の働く力を高めるため、関係機関との連携を一層進め、インターンシップの効果的な取組を進めていきます。

4 教職員の研修の充実

平成20年度の主な取組

- ◆教師力向上のためのサポートシステムの検討（711千円）
教職員研修体系のあり方の見直し

- ◆研修機会の充実（47,897千円）
 - ・ 初任者研修、10年経験者研修、若手・中堅研修、企業派遣研修等9事業
 - ・ 小学校教諭のための初任者研修フォローアップ研修の新設
 - ・ 国語科研修講座等 110講座 2,167人
 - ・ 情報教育推進リーダー育成研修講座 25講座 105人
 - ・ 教職員土曜スクールの開催
授業改善等に関する自主研修講座 7講座 58人

評価

教師力向上のためのサポートシステムの検討の結果、県教育委員会の関係課が行っている研修を教育センターへ一元化するなどの教育センターの機能強化、校内研修の充実などが提言されました。これを受けて平成21年度から、抜本的な見直しを行うこととしました。

また、初任者研修のフォローアップとして、採用2年目の小学校教諭全員を対象に、理科の実験・観察の方法と指導に関する研修を行い、教員が自信をもって指導ができるよう育成に努めました。平成21年度からは、小学校教諭以外にも対象を広げ、各教科の指導や生徒指導等に関する研修を行うこととしており、さらに採用3年目にも継続すべきと考えています。

今後とも、教育センターが、研修の統括機関としての機能を果たすため、教育の調査・研究機能を強化し、学校や教員のニーズに応じた情報を提供していく必要があると考えています。

5 学校体育・健康教育の推進

平成20年度の主な取組

- ◆児童生徒の体カアップの推進（1,640千円）
 - ・全ての公立小中高等学校における体カアップ推進プランの実践
 - ・体カアップの実践研究及び普及・啓発
研究指定校 小学校5校、中学校5校

- ◆運動部活動等の活性化（6,432千円）
 - 運動部活動への地域指導者の派遣
中学校90人、高等学校20人

- ◆学校における食育の推進（581千円）
 - 各学年の発達段階に応じた「食に関する指導事例」の作成

- ◆栄養教諭の計画的配置（一 千円）
 - 学校教育活動全体を通じた食に関する指導の実施 20人

評価

学校体育の推進については、児童生徒の体カアップを図るため、小中高等学校全ての公立学校において平成19年度に引き続き体カアップ1校1プランを実施しました。今後も児童生徒の実態に応じた取組を継続していきたいと考えています。

子どもたちが望ましい食習慣を身につけ、健康で豊かな人間性を育んでいく基礎とするため、各学年の発達段階に応じた「食に関する指導事例」を作成しました。今後は、指導事例を活用し、さらに食育を推進していきたいと考えています。また、食に関する指導の全体計画の策定、教職員間や家庭、地域との連携・調整等において中核となる栄養教諭の役割は重要であり、引き続き計画的な配置が必要であると考えています。

6 児童・生徒の安全確保対策の推進

平成20年度の主な取組

- ◆放課後子ども教室の設置支援（8,809千円）
 - ・推進委員会の設置、指導者研修会の開催
 - ・放課後子ども教室等の設置に対する助成
交付先 加賀市以下11市町

- ◆小学校の通学路安全確保対策への支援（21,098千円）
 - ・学校安全ボランティア養成講習会 5地区 各1回
 - ・学校安全指導員による巡回指導 学校安全指導員28人
 - ・モデル地域の指定 能美市

評価

平成20年度には「放課後子ども教室」を実施する市町が8市町から11市町に増加し、取組が拡大・充実していることから、引き続き、地域住民との交流活動等を通じて、子どもたちを心豊かで健やかに育む、安全・安心な居場所づくりを支援していきたいと考えています。

通学路の安全確保については、県内に28名の学校安全指導員を配置し、県内全ての公立小学校区で組織されている学校安全ボランティア団体への指導助言を行うとともに、指導員自らも巡回活動を行うなど、地域の安全確保を図っており、声かけ等事案が平成20年は、平成19年に比べ19.4%減少するなど一定の成果も見られることから、今後も地域でのこうした取組を継続していく必要があると考えています。

7 教育環境の整備充実

平成20年度の主な取組

- ◆併設型中高一貫教育校の整備（182,671千円）
金沢錦丘中学校・高等学校の校舎等改築
- ◆高等学校の再編に伴う施設整備（89,440千円）
七尾東雲高等学校演劇実習棟の実施設計、小松北高等学校校舎の内部改修等
- ◆校舎等の老朽化に伴う改築
 - ・七尾高等学校の構内環境整備、屋外運動場整備（76,462千円）
 - ・金沢商業高等学校の基本設計（19,215千円）
- ◆校舎の耐震化（204,113千円）
 - ・小松工業高等学校、工業高等学校の耐震化工事
 - ・鹿西高等学校の実施設計
- ◆産業教育設備の充実（127,000千円）
加賀高等学校以下16校

評価

平成20年度末における県内公立高等学校の耐震化率は、73.6%（前年度末から2.2ポイント増加、全国平均67.8%）となっており、着実に耐震化は進んでいるが、今後とも、生徒が安心して学ぶことができるよう、学校施設の耐震化を積極的に進めていく必要があると考えています。

また、老朽化した校舎の改築や多様化する学習内容に対応した施設整備を推進し、引き続き教育環境の整備充実を図っていきたいと考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H18	H19	H20	達成状況
中学生の高等学校進学率	(H24) 全国上位維持	98.7% (3位) (H17)	98.5% (7位) (H18)	98.7% (3位) (H19)	☆☆☆
公立高校の就職内定率	(H24) 100.0%	95.8%	96.1%	97.3%	☆☆
基礎学力調査の正答率の向上	(H24) 70.0%	66.4%	68.1%	66.0%	
新体力テストの5段階評価で上位2ランク（A・B）の者の割合	(H24) 50.0%	42.8%	45.3%	48.6%	☆☆
朝食をほぼ毎日食べている児童の割合（小6）	(H23) 100.0%	95.6%	96.3%	96.9%	☆☆
交通事故発生率（児童生徒の事故件数/児童生徒数）	(H24) 0.4%	0.44%	0.42%	0.41%	☆☆

☆☆☆：目標達成 ☆☆☆：目標未達成だがH20実績が前年度より改善 ☆：目標未達成でH20実績が前年度と同じ 目標未達成でH20実績が前年度より悪化は空白
国等の調査結果を利用しているため、H20年の実績が記載できないものについては、数値の下に、実績年度を（ ）書きで記載

施策2 心の教育の充実

生命を尊重する心、他人への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心など、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもたちを育てるために、「心の教育—石川の提言—」の具現化に向け、心の教育の充実を図る。

1 いじめ・非行防止・不登校対策の充実

平成20年度の主な取組

- ◆いじめ・非行防止・不登校対策の推進（106,088千円）
 - ・いじめを許さない学校づくりの推進
 - ・いじめ相談テレホンの設置 常時相談員2人体制
 - ・いじめに関するアンケート調査
 - ・携帯電話に関するアンケート調査
 - ・生徒指導サポーターの配置 10人
 - ・非行防止地域連絡会議の開催 18回
 - ・不登校児童生徒の学校復帰支援
高等学校不登校対応支援チーム派遣
教育支援センターの運営等
 - ・スクールカウンセラーの配置 小・中・高等学校85校
 - ・子どもと親の相談員の配置 小学校 9校
 - ・教育相談員の配置 中学校 25校
 - ・スクールソーシャルワーカーの配置 4市町 5人

- ◆不登校問題への対応に向けた少人数学級の実施（—千円）
 - 中学校1年において、加配教員を活用した35人学級を選択できる制度を実施

- ◆いじめ・不登校に対する教員の対応力の向上（1,500千円）
 - 児童生徒の人間関係づくり実践講座 286人

- ◆カウンセラー教員の養成（1,031千円）
 - 長期研修（1年）1人 短期研修（6カ月）22人

- ◆地域・家庭からいじめを防止する環境づくりの推進（4,499千円）
 - 「いじめ・不登校対策啓発チェックシート」や「早寝・早起き・朝ごはんカード」の配付

- ◆携帯電話の有害情報対策の推進（1,468千円）
 - ・小3～高3の児童生徒をもつ保護者向け啓発リーフレットの配付
 - ・中3の生徒をもつ保護者向け啓発リーフレットの配付

評価

いじめ対策では、いじめを許さない学校づくりの推進やいじめ相談テレホン、いじめに関するアンケート調査等の取組を進めた結果、平成20年度のいじめの発生件数は、前年度と比較し、小中高等学校を合わせ523件減少しました。今後も継続した取組が必要と考えています。また、ネットいじめに対しては、「携帯電話に関するアンケート調査」を実施し、いじめや誹謗中傷等の書き込み被害・加害等の実態把握を行い、ネットトラブルへの取組を進めております。

不登校対策では、スクールカウンセラーを小学校10校に新たに配置して、小・中・高等学校合わせ85校とし、強化を図りました。

また、児童生徒が置かれている環境に働きかけて、問題を改善・解決するスクールソーシャルワーカーを4市町に5人配置し、学校・児童生徒・保護者への支援の充実に努めた結果、平成20年度の不登校児童生徒数は、前年度と比較し、小中高等学校を合わせ133人減少しました。

さらに、高等学校の中途退学対策では、教育支援センター（やすらぎ教室）において、不登校生徒の学校復帰を目指した適応指導と相談対応等の取組を進めた結果、平成20年度の中途退学率は、前年度と比較して0.12%減少しました。今後も継続して取り組む必要があると考えています。

この他、非行防止対策として生徒指導サポーターの派遣や非行防止地域連絡会議の開催に取り組んでいます。

なお、暴力行為対策については、高校生対象の非行防止教室や小中学生の保護者対象の非行被害防止講座等に取り組むとともに、教員対象の「人間関係づくり実践講座」をとおして、公立小中高等学校の児童生徒の人間関係づくりに努めたものの、平成20年度の暴力行為件数は、平成19年度より小中高等学校合わせて8名増加し、3年連続増加傾向となりました。

今後は、さらに、児童生徒の規範意識の醸成や相手の立場を思いやることなど共感的な人間関係づくりの推進により、暴力行為の未然防止に努める必要があると考えています。

学校生活への早期適応を図るための中学校1年の少人数学級については、平成18年度以降、級外教員を活用し実施してきましたが、平成20年度より加配教員の活用を可能としたところ、少人数学級を選択する学校が、前年度の7校から24校に増え、現場のニーズを反映した制度に改善できたものと考えています。

いじめ・不登校の要因は多様・複雑であり、またその兆候を見つけることは容易ではありません。そこで、全ての小中学生の保護者へチェックシートを配付することにより、大人が子どもの態度や様子を把握し、子どもとの接し方を振り返り、コミュニケーションを増やすきっかけ作りを行いました。また、3・4・5歳児の保護者へ生活記録カードを配付し、幼児期の基本的な生活習慣の育成に関する啓発を図りました。

保護者懇談会等を活用し、教員が直接、保護者に携帯電話の危険性と安全対策に関するリーフレットを配付・説明しました。保護者への啓発はもとより、教職員の知識・理解を深める機会となり、引き続き、リーフレットを配付するとともに、新たに保護者を対象とした講座を開催するなど、周知啓発を図っていきたいと考えています。

2 家庭・地域の教育力の向上

平成20年度の主な取組

- ◆ 豊かな心を育む教育の推進（13,919千円）
豊かな心を育む県民大会の開催、中高生グッドマナーキャンペーンの実施、親子の手紙の募集等
- ◆ 地域ぐるみで学校運営を支援するボランティア本部の設置支援（11,483千円）
学校支援ボランティアによる部活動支援や登下校の安全確保等
委託先 金沢市以下10市町
- ◆ 家庭教育の充実（16,590千円）
電話相談の実施、テレビ番組「げんき日記」の提供等

評価

豊かな人間性を培う心の教育を推進するため、豊かな心を育む県民大会の開催や中高生グッドマナーキャンペーンの実施、親子の手紙の募集などの事業を展開し、いずれの事業も年々参加者が増加してきています。しかし、いじめ・不登校や基本的な生活習慣の乱れ、ネットトラブルなど、子どもたちを取り巻く状況は依然として憂慮すべきものがあります。引き続き多くの県民が参加できる取組を通じて、県民意識の高揚を図ることが必要と考えています。

学校教育を支援するため、県内10市町で学校の活動に地域の方々をボランティアとして派遣する「ボランティア本部」が設置され、登下校の安全指導や学校環境の整備、部活動支援など、学校の要請に応じた様々な支援活動が行われました。

地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため、引き続き「ボランティア本部」の設置を支援する必要があると考えています。

家庭教育に関する情報をテレビ番組を通して提供するとともに、電話相談により子育てに関する悩みや問題に対応するなど家庭教育を支援してきました。電話相談については約400件を超える相談があり、今後ともきめ細かい家庭教育支援を図る必要があると考えています。

3 生きる力を育む教育の推進

平成20年度の主な取組

- ◆地域と共に「わく・ワーク体験」の実施（1,450千円）
職場体験・ボランティア活動の実施
中学校2年生 11,330人
- ◆豊かな体験学習の実施（13,647千円）
農山漁村におけるふるさと生活体験や仲間と学ぶ宿泊体験活動等の実施
小学校12校、中学校3校、高校1校
- ◆洋上スクールの実施（5,572千円）
実習船「加能丸」による洋上体験学習
2泊3日4航海 1日コース2航海 小・中学生 212人

評価

わく・ワーク体験や宿泊体験活動などの体験活動を通し、児童生徒の生きる力の育成に努めました。今後とも、充実した体験活動により、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むことが必要と考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H18	H19	H20	達成状況
いじめ発生件数	(H24) 1,000件	3,577件	2,072件	1,549件	☆☆
不登校児童生徒数	(H24) 700人	1,668人	1,672人	1,539人	☆☆
公立学校の中途退学率	(H24) 全国上位	1.80% (15位)	1.84% (12位)	1.72% (14位)	
児童生徒の暴力行為件数	(H24) 50人	133人	190人	198人	
豊かな心を育む事業参加者数	(H25) 44,000人	65,119人	81,358人	86,560人	☆☆☆
学校・家庭・地域の連携推進事業参加者数	(H25) 90,000人	111,443人	137,555人	142,265人	☆☆☆

☆☆☆：目標達成 ☆☆：目標未達成だがH20実績が前年度より改善 ☆：目標未達成でH20実績が前年度と同じ 目標未達成でH20実績が前年度より悪化は空白

施策3 生涯学習の振興

県民の学習意欲の高まりと多様化するニーズに応え、一人一人が思いやりと生きがいに満ちた生活を創造できるよう、学習機会の拡充や学習情報の提供充実を図るとともに、生涯学習振興のための諸条件の整備に努める。

平成20年度の主な取組

- ◆県民大学校の充実（40,424千円）
39専門講座、854教養講座、大学院「石川の博士」養成講座4講座
入校者7,835人 修了者598人
- ◆人権教育の推進（5,636千円）
指導者の研修7回、啓発資料の作成2,500部 市町、社会教育団体へ配布等
- ◆図書館の充実
 - ・図書資料の充実 20,869点（41,000千円）
 - ・図書館マルチ検索・予約システムの運営（23,939千円）
県内公共図書館の横断的検索システムの運営等
- ◆生涯学習センターの充実（1,200千円）
視聴覚ライブラリーの充実 80点
- ◆いしかわ子ども自然学校の実施（10,006千円）
個人参加型91プログラムの展開等
- ◆自然史資料館のリニューアルオープン（63,956千円）
 - ・自然たんけん広場、物理たいけん教室の新設等
 - ・来館者駐車場等の整備

評価

学習機会の充実を図るため、石川県民大学校では、市町、大学、民間教育機関等と協力し、平成20年度は新たに、地域の課題解決や活性化に取り組む人材を育成するための「ファシリテーター養成講座」を実施するなど、897講座を開催し、入校者数も6,590人から7,835人に増加しました。

引き続きアンケート調査などを実施し、講座の充実を図るとともに、修了者が学校を支援するボランティアに参加するなど、学習成果を地域で活用できるよう支援していきたいと考えています。

県立図書館では、県民の多様な学習を支援するため、基本図書及び地域資料等の充実に努めるとともに、利用者の利便性を高めるため、図書館マルチ検索・予約システムを提供しています。また、図書館が身近に感じられるようにライブラリーサロンの活用を充実したことなどにより、入館者数は約18万4千人から25万8千人に、また貸出冊数は約13万8千冊から15万冊になるなど、前年度を上回りました。今後とも利用者のニーズに応じた、機能の充実を図っていききたいと考えています。

自然史資料館では、自然史資料の活用を図るため、平成19年度に「自然たんけん広場」や「物理たいけん教室」の新設など展示部門を充実し、平成20年4月にリニューアルオープンしました。また、特別展や企画展を開催するほか、駐車場の整備を行い、来館者が増加するなど一定の成果が見られました。今後も、展示内容や各種講座等の充実を図っていききたいと考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H18	H19	H20	達成状況
県立生涯学習施設の利用者数	(H25) 353,000人	366,841人	367,162人	435,952人	☆☆☆
県民大学校修了者数	(H25) 15,000人	10,721人	11,396人	11,994人	☆☆

(☆☆☆：目標達成 ☆☆：目標未達成だがH20実績が前年度より改善 ☆：目標未達成でH20実績が前年度と同じ 目標未達成でH20実績が前年度より悪化は空白)

施策4 文化財の保護

本県の個性豊かな歴史と文化を物語る文化財を大切に保存するとともに、積極的に公開・活用を図り、さらに次世代に継承させていくため、世界遺産登録に向けた取組、文化財の掘り起こしや調査研究を進めるほか、文化財を支える人材の養成・確保など保存伝承基盤の整備を図る。また、埋蔵文化財の発掘調査を促進し、調査成果の公開と活用を図る。

1 文化財の保存・活用

平成20年度の主な取組

- ◆金沢城の調査研究（25,487千円）
 - ・埋蔵文化財、絵図・文献、建造物、石垣の調査研究及び資料のデータベース化
 - ・石垣構築技術の研究
 - ・「よみがえる金沢城」第2巻の刊行等
- ◆金沢城石川門の保存修理（111,600千円）
附属右方太鼓塀解体修理等
- ◆世界遺産登録への取組（23,921千円）
 - ・文化遺産学術調査委員会の開催
 - ・テーマ別研究、戸室石切丁場の総合調査
 - ・未指定文化財の調査支援
金沢の文化的景観、白山山頂遺跡等
- ◆近代和風建築の調査（3,200千円）
明治期以降の近代和風建築の調査
- ◆文化財の保存修理・伝承事業等への助成（85,978千円）
交付先 金沢市以下11市町、23団体、5人
- ◆漆芸技術伝承者の養成（35,821千円）
輪島漆芸技術研修所における重要無形文化財（人間国宝）技術伝承者養成研修
普通研修課程33人、特別研修課程20人

評価

本県の歴史・文化を反映した有形・無形の文化財の適切な保存・管理及び積極的な公開・活用に取り組みました。

これまでの文化財の掘り起こしと調査研究の成果として、平成20年度には県指定文化財を5件指定し、国指定文化財5件、重要伝統的建造物群保存地区1地区が指定・選定されました。

また、新たな文化財の掘り起こしとして、「城下町金沢」や「霊峰白山」の世界遺産登録に向けた取組の中でも、未指定文化財の調査を推進したほか、新たに明治時代以降の近代和風建築の調査に着手しました。

引き続き、文化財指定や文化財保護のための調査を推進し、あわせて文化財の適切な保存・管理や伝承に努め、県民が地域に対して愛着や誇りが持てるよう、市・町や所有者の協力も得て文化財の公開・活用に努めていく必要があると考えています。

2 埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用

平成20年度の主な取組

- ◆埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用（419,576千円）
 - ・調査の促進
 - 国土交通省等の公共事業に伴う発掘調査
 - ・公開と活用
 - 県埋蔵文化財センターでの古代ふれあい体験イベント等開催

評価

開発行為等に伴う埋蔵文化財の調査について対応しました。今後とも引き続き、関係機関との連絡調整を密にするなど効率的な調査に努め、調査要望に対応していくとともに、適切な記録保存を行っていく必要があると考えています。

埋蔵文化財の公開・活用については、埋蔵文化財センターにおいて、「加賀郡勝示札」を始めとする発掘成果を展示公開し、新たな体験メニューとして古代の「暮らし」体験を実施したほか、引き続き「まいぶん出前講座」などの体験学習の機会を積極的に提供しました。

今後も、ふるさとの埋蔵文化財に対する理解と関心を深めていくため、埋蔵文化財センターを中心とした各種普及啓発事業の継続実施とその周知を進めていく必要があると考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H18	H19	H20	達成状況
県指定有形文化財指定件数	(H22) 315件	303件	311件	313件	☆☆
県指定無形文化財指定件数	(H22) 25件	21件	20件	21件	☆☆
埋蔵文化財センター入館者数	(H22) 12,000人	11,353人	14,444人	12,580人	☆☆☆

(☆☆☆：目標達成 ☆☆：目標未達成だがH20実績が前年度より改善 ☆：目標未達成でH20実績が前年度と同じ 目標未達成でH20実績が前年度より悪化は空白)

施策5 スポーツの振興

児童生徒の健康の増進や体力の向上を図り、生涯にわたる健康生活の基盤を培うとともに、県民のスポーツに対するニーズの多様化に応えるため、生涯スポーツの普及・振興を図る。

また、「スポーツ石川」の競技水準の向上を目指すため強化事業の推進や指導者の育成を図るなど体育・スポーツの環境整備に努める。

1 生涯スポーツの普及・振興

平成20年度の主な取組

- ◆広域スポーツ支援センター事業の推進（3,398千円）
スポーツ情報ネットワークシステムの運用等
- ◆県民スポーツ・レクリエーション祭の開催（6,230千円）

日	時	平成20年4月27日～11月2日
場	所	金沢市以下17市町
内	容	種目別大会及びニュースポーツ体験広場の実施等

評価

生涯スポーツの振興については、県民の体力の向上と健康増進に向け、それぞれがライフステージに応じてスポーツに親しむことを推奨しており、その実践の場として、県下全域において、さまざまなスポーツ種目が体験できるよう県民スポーツ・レクリエーション祭を開催し、県民生活に活力を与えてきたところであり、平成20年度は前年を1,704人上回る18,783人の参加がありました。今後も多くの方が参加できるよう開催時期などについて、関係団体へ働きかけていきたいと考えています。

2 競技スポーツの充実・強化

平成20年度の主な取組

- ◆選手強化事業の推進（220,908千円）
国体選手強化、一貫指導ジュニア育成、中学生・高校生選手強化
- ◆トップアスリートに対する科学的トレーニングの推進（4,000千円）
21競技団体強化選手 117名
- ◆全国中学校体育大会に向けた3競技の強化（1,800千円）
石川県開催種目 バレーボール、柔道、相撲
- ◆いしかわっ子金沢城駅伝交流大会の開催（1,600千円）

日	時	平成20年11月3日
場	所	金沢城公園内特設周回コース
参	加	者 男子73チーム、女子60チーム
- ◆駅伝特別強化事業の推進（2,300千円）
代表校の強化 中・高校とも男女各1校
石川県選抜チームの強化
- ◆全国大会等への派遣費助成（68,436千円）
国民体育大会への選手団派遣費等

評価

競技力の向上については、国体選手の強化はもとより、平成15年度から本県独自に作成した競技別一貫指導プログラムを活用して小学生から高校生まで指導する一貫指導ジュニア育成事業に取り組むなどの競技力向上策を実施しています。また、平成20年度に開館した「いしかわ総合スポーツセンター」において、新たに取り組んでいる科学的トレーニング特別強化事業を一層充実させ、全国大会等で優秀な成績を収めることができるよう競技力向上に努力していきたいと考えています。

3 スポーツ施設の整備充実

平成20年度 of 主な取組

- ◆いしかわ総合スポーツセンター開館記念事業の実施（7,356千円）
開館記念式典及びこけら落とし 4月12日
- ◆屋内相撲場の整備（10月13日開館）（198,041千円）
整備概要 主体構造 鉄骨造（一部RC造）平屋建 延床面積 917㎡
- ◆県立体育・スポーツ施設の管理運営（321,666千円）
県立体育施設の維持管理 いしかわ総合スポーツセンター以下9施設
- ◆体育・スポーツ施設のリニューアル等（207,820千円）
西部緑地公園陸上競技場の施設改修以下12件

評価

「競技力の向上」と「生涯スポーツ社会の実現」を目指し、本県スポーツ振興の中核的拠点施設として平成17年から整備を進めてきた「いしかわ総合スポーツセンター」が平成20年4月に開館しました。なお、平成20年度の入館者数は、旧体育館の平成19年度入館者数の2.9倍の約37万6千人でした。

また、旧体育館の屋内相撲場の代替施設として、剣道・柔道など日本古来の武道競技を一元的に集約するため、県立武道館敷地内に整備を進めてきた屋内相撲場も平成20年10月に開館しました。

県のスポーツ施設については、競技力の向上や県民がよりスポーツに親しみやすい環境づくりを進めることを基本として、整備目的に沿ってその役割を果たしていけるよう計画的に改修等を実施していく必要があると考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H18	H19	H20	達成状況
県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	(H27) 18,000人	15,727人	17,079人	18,783人	☆☆☆
スポーツ指導者数	(H27) 2,000人	1,586人	1,787人	1,853人	☆☆

(☆☆☆：目標達成 ☆☆：目標未達成だがH20実績が前年度より改善 ☆：目標未達成でH20実績が前年度と同じ 目標未達成でH20実績が前年度より悪化は空白)

<p>教育委員会会議及び教育委員の主な活動</p>

- 1 教育委員会会議
16回開催（開催日及び審議決定事項 23頁）

（議案 51件）
（報告事項 23件）

- 2 教育委員の主な活動（視察、各種行事等）

月 日	内 容
H20. 4. 1	事務局職員辞令交付式
H20. 4. 1	新規採用教職員辞令交付式
H20. 4. 12	いしかわ総合スポーツセンター開館記念式典
H20. 5. 9	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
H20. 5. 10	総合養護学校校舎完成記念式典
H20. 6. 2	永年勤続退職者知事感謝状贈呈式
H20. 7. 17 ～18	全国都道府県教育委員会連合会総会等
H20. 8. 7	施設視察（自然史資料館）
H20. 9. 15	子どもの生活リズム向上全国フォーラムinいしかわ
H20. 9. 19	全国教育委員長会議
H20. 10. 5	七尾高等学校校舎完成記念式典
H20. 10. 10	石川縣市町教育委員会連合会研究大会
H20. 10. 13	武道館屋内相撲場開館記念式典
H20. 10. 15	金沢二水高等学校60周年記念式典
H20. 10. 19	ろう学校100周年記念式典
H20. 11. 1	「いしかわ教育の日」記念大会
H20. 11. 5	学校視察（小松高等学校、小松養護学校、白山市立白嶺小中学校）
H20. 11. 9	錦城養護学校30周年記念式典
H20. 11. 10	東海北陸ブロック教育委員全員協議会
H20. 11. 12	永年勤続職員表彰式

月 日	内 容
H20. 11. 14	七尾養護学校30周年記念式典
H20. 11. 22	七尾城北高等学校60周年記念式典
H21. 1. 19 ~20	全国都道府県教育委員会連合会総会等
H21. 1. 22	施設視察（教育センター）
H21. 2. 5	公安委員との意見交換会
H21. 2. 12	知事との意見交換会
H21. 2. 23	北陸三県教育委員全員協議会
H21. 3. 31	退職者辞令交付式
H21. 3. 31	新任校長等辞令交付式

平成20年度教育委員会議開催状況

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
平成20年第5回 （H20. 4. 1）	議案第16号 教育長の人事について 議案第17号 平成20年度石川県教科用図書選定審議会委員の変更について
平成20年第6回 （H20. 4. 21）	議案第18号 文化財の県指定について 議案第19号 平成21年度使用教科書の採択方針について 議案第20号 石川県社会教育委員の任命について 議案第21号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱（任命）について 議案第22号 石川県立図書館協議会委員の委嘱について ----- 報告第1号 平成20年度石川県立金沢錦丘中学校及び石川県公立高等学校における入学者選抜結果について 報告第2号 平成19年度全国高等学校選抜大会の成績について
平成20年第7回 （H20. 5. 22）	議案第23号 石川県教育委員会特定事業主行動計画の改定について 議案第24号 平成21年度石川県公立高等学校等第1学年入学者選抜方針について 議案第25号 石川県社会教育委員の委嘱について 議案第26号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱について 議案第27号 石川県スポーツ振興審議会委員の委嘱（任命）について ----- 報告第1号 平成21年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験について 報告第2号 平成20・21年度石川県公立学校教員（栄養教諭）採用候補者特別選考試験について
平成20年第8回 （H20. 6. 30）	議案第28号 石川県社会教育委員の委嘱について 議案第29号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱について 議案第30号 教職員の人事について ----- 報告第1号 平成21年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験等の志願状況について 報告第2号 平成21年度公立高等学校入学者選抜方法について
平成20年第9回 （H20. 7. 14）	議案第31号 石川県体育施設管理規則の一部改正について 議案第32号 石川県立図書館協議会委員の委嘱（任命）について ----- 報告第1号 平成20年3月石川県公立高等学校卒業者の進路状況について 報告第2号 平成20年度基礎学力調査の結果について
平成20年第10回 （H20. 8. 7）	議案第33号 平成21～22年度使用石川県立特別支援学校小学部検定済教科用図書の採択について 議案第34号 教職員の人事異動について ----- 報告 教職員の人事異動について
平成20年第11回 （H20. 9. 4）	議案第35号 平成20年第3回石川県議会定例会提出予定案件について 議案第36号 石川県社会教育委員の委嘱（任命）について ----- 報告第1号 平成20年度全国学力・学習状況調査の結果について 報告第2号 第29回北信越国民体育大会等における本県選手団の成績について 報告第3号 教職員の人事異動について

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
平成20年第12回 （H20. 9. 18）	議案第37号 平成21年度県立学校第1学年入学者の募集定員について
平成20年第13回 （H20.10. 9）	<p>議案第38号 教育委員会が所管する手続等に係る石川県行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の制定について</p> <p>議案第39号 情報通信の技術を利用する方法により行わせ、又は行うことができる手続等について</p> <p>議案第40号 石川県立高等学校規則及び石川県立特別支援学校規則の一部改正について</p> <p>議案第41号 平成20年度石川県優秀教員の決定について</p> <hr/> <p>報告第1号 平成21年度石川県公立高等学校第1学年入学者選抜に係る推薦入学実施校における推薦枠について</p> <p>報告第2号 世界遺産暫定一覧表追加資産の審議結果について</p> <p>報告第3号 第63回国民体育大会における本県選手団の成績について</p>
平成20年第14回 （H20.11.12）	議案第42号 教職員の人事について
平成20年第15回 （H20.11.26）	<p>議案第43号 平成20年第4回石川県議会定例会提出予定案件について</p> <p>議案第44号 教育長に対する権限委任規則等の一部改正について</p> <p>議案第45号 地方自治法第180条の2の規定に基づく協議の承認について</p> <p>議案第46号 平成21年度教職員人事異動方針について</p> <hr/> <p>報告 携帯電話に関するアンケート調査の結果について</p>
平成20年第16回 （H20.12.17）	<p>議案第47号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について</p> <p>議案第48号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱（任命）について</p> <p>議案第49号 教職員の人事について</p> <hr/> <p>報告 平成20年度「全国学力・学習状況調査」の分析・考察について</p>
平成21年第1回 （H21. 1. 22）	<p>議案第1号 教育職員免許状の更新等に関する規則の制定について</p> <p>議案第2号 石川県教育職員免許法令施行細則の一部改正について</p> <p>議案第3号 一般行政職員に係る平成21年度4月定期人事異動方針について</p> <p>議案第4号 石川県文化財保護審議会委員の委嘱（任命）について</p> <hr/> <p>報告 平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における石川県の結果概要について</p>
平成21年第2回 （H21. 2. 12）	<p>議案第5号 平成21年第1回石川県議会定例会提出予定案件について</p> <p>議案第6号 教職員の人事について</p> <hr/> <p>報告第1号 平成20年度石川県立学校卒業式に係る石川県教育委員会告辞について</p> <p>報告第2号 平成20年石川県優良部活動指導者表彰(知事表彰)について</p>

回（開催日）	審 議 決 定 事 項	
平成21年第3回 （H21. 3.12）	議案第7号 議案第8号	平成21年度学校教育における指導の重点について 人事異動について
	報告	第64回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績について
平成21年第4回 （H21. 3.19）	議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号	石川県教育委員会事務局等組織規則等の一部改正について 石川県体育施設管理規則の一部改正について 石川県立高等学校における専門教科に関する教科・科目の標準単位数の変更について 財団法人輪島市スポーツ振興事業団の解散の及び残余財産の処分の許可について 平成21年度石川県教科用図書選定審議会委員の委嘱（任命）について 指導力不足教員の研修後の措置について 指導が不適切である教諭等の認定について 人事異動について 教職員の人事について
	報告第1号 報告第2号	平成20年度児童生徒の体力・運動能力調査結果について 人事異動について